



第1088号
2008年7月13日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇7月の代禱・信施奉献先
▽アジア学院の働きのため▽海
の主日(7月第2主日7・13)
▽聖公会八王子幼稚園のため▽
女性の家HELIPのため
◆教役者レクイエム
7月16日(水)10時半
主教座聖堂

▽司祭 後藤栄吉▽司祭 堀江議
作▽司祭 多川幾造▽執事 永
田保次郎▽伝道師 ミスマンダ
▽司祭 E・H・アーノルド
◆とこしえの平安
6月9日 森本 正和(81)
6月16日 大西 眞澄(77)
聖ヨハネ 諸聖徒

▽浅草聖ヨハネ教会・大川端寄
席(台東九条の会主催) 7月19

日(土)19時開演。落語2題と南
京たまずだれ他。木戸銭なし。同
九条の会事務局TEL03(5815)
8586。
▽東京聖テモテ教会・上映会
ドキュメンタリーフィルム
『Waiting...待つ』(日本語字
幕・約40分)の鑑賞とフィルムを
巡るお話とインドチャイ・スナツ

クのお楽しみ。7月26日(土)15
時、会費千円。会場TEL03(381
1)5836。
▽牛込聖バルナバ教会・パイプ
オルガンに親しむ会 教会設立1
30周年記念催事、7月26日(土)
14時から。お話と演奏||明石京子
(同教会オルガニスト)無料、申込
不要。TEL03(3268)8067。

今週・来週の予定

7月13日~26日	
13 (日)	聖霊降臨後第9主日 主教巡回神愛教会 ランベス会議主教出張 (~8/7) 広報・フェスタ合同会 教役者レクイエム(主教座)
15 (火)	正義と平和協懇談会 正義と平和協運営委員会 環状G牧師協議会(立教)
16 (水)	正義と平和協運営委員会 正義と平和協運営委員会 環状G牧師協議会(三光)
17 (木)	正義と平和協運営委員会 正義と平和協運営委員会 環状G牧師協議会(三光)
18 (金)	正義と平和協運営委員会 正義と平和協運営委員会 環状G牧師協議会(三光)
19 (土)	財政:会計委員意見交換会 聖霊降臨後第10主日
20 (日)	外濠G教会協議会(諸聖徒) 山手G教会協議会(聖三一)
	環状G教会協議会(池袋)
	多摩G教会協議会(八王子)
23 (水)	山手G牧師協議会(聖三一) 月島聖公会~特別委員会 フェスタ:礼拝部会
24 (木)	多摩G牧師協議会(八王子)
25 (金)	信仰と生活委員会

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

深さを増した緑の木々の出迎えをう
け今週も滝乃川学園にやってきた。何
度めの礼拝になるだろうか。園生の平
安を祈り、家族の健康を祈りそして自
分の心の洗濯にやってくる。

持った幼子たち、彼らはどのような気持ち
で礼拝に臨んだのだろうか。それまでキリ
スト教とも縁もなかつたであろう園生たち
をチャペルに招き入れて石井亮一、筆子両
先生は「あなたたちはイエス様に守られて
いるんだよ」と、園生たちに平安と恵みの

おしやべりが飛び交う
のだけれど聖歌の伴奏
が始まるとそれもピタ
リとやむ。それに司祭
や執事の説教が始まる
と紙芝居を前にした子
供たちのような目の輝

《恵みに生かされて》
平安と恵みと
野口行雄

日々の中にあることと、主に
感謝することの大切さを説
いたと記録には残る。その言
葉がどれだけ彼らの心の支
えになったのだろうか。その
教えが小さなチャペルで今
日まで連続と受け継がれて

きを放ちながら話しに聞き入る園生
達。学園は創設されてから百二十年ち
かくもたつけども初めのころもこのよ
うな礼拝だったのだろうか。一瞬の地
震で親や兄弟を失い不安と悲しみのさ
なかにあったであろう少女たち、親元
から離れて学園にやってきた障害を

いることに驚きを感じる。
嬉しそうにチャペルを後にする今日の園
生達の後姿を見つめつつ、私も主からの平
安と恵みを感じ取っている。それにしても
主よ、もう少し私に与える試練を減らして
下さいませんか。
(滝乃川学園)

信仰と生活委員会報告

(6月26日)

*青年活動支援部会報告① 全国青年大会(8月)に参加する青年たちへの資金的な面も含めた支援要請、②国際アングリカン青年ネットワーク(ランベス会議中に開催)で沖繩をフォローカスしたアピール予定。

*献金教育に関するプロジェクトチームなど、継続審議。

*信徒講座の振り返りと、今後のさらなる充実に向けた協議。

*一粒の麦の会報告②5月の日本聖公会婦人会全国大会への出席報告(教区関係者10人、感謝箱献金7万余円・リーストコイン5万円奉献、他)。

*正義と平和協議会(8・15平和メッセージ発行企画)、その

他諸活動の案内・報告。

▽教会会計担当者意見交換会 財政委員会(長・横倉正義)主催により7月19日(土)

14時〜17時、アンデレホールで開かれる。教区財政と各教会の財政事情などについて、各教会会計担当者・財政委員の意見交換のほか、会計ソフトや教区費分担金算出方法など教区の現状報告も予定されている。

▽COA中高生企画

7月21日(月・休・10〜17時)に清瀬聖母教会で、「サマーキャンプ(8月13〜15日・小山祈りの家)案内書配付中・7月26日申込締め)へ向けた集いを開く。照会☎080-5466-

5642(COA代表者)。

▽五本木九条の会(憲法を学ぶ)講演会「戦争と平和を若い人々に学ぶ」1年9ヶ月後に迫った改憲手続法施行に立ち向かい」

井聖公会信徒・NCC常議員)。7月23日(水)18時半〜20時半、聖パウロ教会。無料。事務局☎090-8044-8524。

▽JOCs(日本キリスト教

海外医療協力会)ワーカー報告会 聖マーガレット教会で7月27日(日)13時、「ネパールの物語」榎戸健次郎医師の報告」。3年間の活動を終えて一時帰国した日本の家庭医が見た現地の医療活動状況。参加歓迎。照会☎03(3334)2812・会場教会。

【学びと働きから】82

「三日間の霧の中で」

教役者研修会に出席して

去る6月23日から25日まで富士箱根ランドにて東京教区教役者宿泊研修会が行われた(聖職養成委員会主催)。主題は「教会の使命と聖職の務め」聖公会の現状と課題」。

植松首座主教の基調講演から研修は始まった。ランベス会議を迎えて、分裂の危機という緊張関係の中に置かれたアングリカン・コミュニティの現状に関する話であった。その葛藤は、アングリカン・コミュニティそれぞれが持っている福音理解の差から始まったもので、日本聖公会また東京教区に福音理解はあるのか、という厳しい問いが

投げかけられたとも言える。

2日目以降は「聖書研究と分かち合い」、「牧会の現場から考える」、「先輩から期待すること」、「植田主教による総括」の流れの中

で、福音とは普遍的でありながらも、様々な姿であらわれるものであると。福音は宣べ伝えられる現場の状況、地域性、集まる人々によって、神さまのみ旨にかなうものとして語らせていただくものである、という共通理解を深める時間であった。また日本聖公会、また東京教区のそれぞれ教会が置かれた現状についても直接お話を伺い、考えさせられることによつて、東京教区に必要とされる福音理解について分かち合うことができた。

研修会が行われた三日間、外は

ずっと霧で何も見えない状態であった。富士山どころか、5メートル先も見えない悪天候であった。この三日間の霧は、まるで世界の聖公会および日本聖公会、東京教区が置かれた厳しい現状をあらわしているようなものでもあった。一歩先も見えない現実。それを打破しようと、乗りこえようと私たちはあらゆる手段と方法を使っている。私たち人間の思い、行いが本当に神さまのみ旨に合うものであるかどうかということをお祈りと行いの中で識別できる「み恵」が与えられることを切実に願うばかりであった。東京に向かう帰りの天候は晴れ晴れとして眩しかったのである。

執事 卓 志雄(たく・じゅうん)

練馬聖ガブリエル教会牧師補